

# 豊庄だより



第 727 号 2022 年 10 月 11 日

運動会から1週間が経ちました。急速に秋の深まっていくのを感じます。ケヤキの落ち葉が目につくようになった園庭で駆け回る子どもたちを見ると、運動会で遊戯やかけっこをして、たくましくなったなあと思います。

福岡市早良区南庄 2-26-13  
社会福祉法人林生会豊庄保育園  
園長 西尾 達



10月8日は寒露(かんろ)でした。寒露とは、夜が長くなり露が冷たく感じられる頃のことです。二十四節気の一つです。月曜日の合同朝の会では、季節の話をするのを心掛けています。先週は、秋の果物、柘榴(ざくろ)の話をしました。柘榴はあまり目にしません、自宅の近くに柘榴の木があり、毎年実をつけています。持ち主の方の了解を得て、一ついただきました。表面は何色といえいいのかわかりませんが、あざやかな色です。ピンク色では適切ではなく、柘榴色としか言いようがありません。もう少しすれば、パカッと割れ、中の実を見ることができます。この実がとてもすっぱく、食べると秋の来たのを実感します。子どもたちには、「その時は、またお話ししましょう」と伝えました。10月14日の誕生会で紹介できればと考えています。

先週末、運動会で撮った 700 枚近くの写真を整理し、クラス別に掲示しました。当日、ひとり一人の表情を撮らなければとカメラのシャッターを押し続けたのですが、なかなかうまくいきませんでした。そこで、退場する正門前で集合写真を撮ることにしました。これはうまくいきました。しかし、もも、さくら、すみれ組までは、撮ったのですが、なぜか、ばら、ゆり組を落としてしまったのです。言い訳をするなら、こうです。ばら組からは約 30 分が演技の時間です。30 分演技を追いかけ、ほっとして次のゆり組の 30 分に備えました。正門前に行くのをすっかり抜け落ちていました。きっと私の体力と集中力が落ちていたのでしょうね。最後のひまわり組は、集合写真を必ず撮らなければと思っていたのですが……。気づいた時は、「覆水盆に返らず」でした。



ばら組 「サチアレ」



ゆり組 体操教室